

宮崎市青少年育成センター
個別施設計画

令和3年3月
教育委員会 生涯学習課

宮崎市青少年育成センター 個別施設計画

目次

| | | |
|-----|-----------------|---|
| 第1章 | 計画の背景と目的 | 1 |
| 第2章 | 概要 | |
| | (1) 対象施設の概要 | 1 |
| | (2) 対象施設の経緯 | 1 |
| | (3) 計画期間 | 1 |
| | (4) 位置図 | 2 |
| | (5) 施設写真 | 3 |
| 第3章 | 個別施設の状態等 | |
| | (1) 対策の優先順位の考え方 | 4 |
| | (2) 個別施設の状態 | 4 |
| | (3) 施設の劣化状況写真 | 5 |
| 第4章 | 対策の内容等 | |
| | (1) 対策の考え方 | 6 |
| | (2) 対策の平準化について | 6 |
| | (3) 対策の内容等 | 6 |

第1章 計画の背景と目的

本市では、持続可能かつ最適な公共施設経営の実現を目指し、「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」を経営方針とする「宮崎市公共施設等総合管理計画」を平成29年2月に策定したところです。今後は、この計画に基づき、個別施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を策定することとなっております。

「個別施設計画」については、各施設の特性や維持管理・更新等に係る取り組み状況等を踏まえつつ、長期的な視点をもって、長寿命化・建替え・複合化などを計画的に行い、最適な公共施設サービスを提供することにより、持続可能な行政運営の実現を図ることを目的に策定します。

第2章 概要

(1) 対象施設の概要

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------|
| 対象施設 | 宮崎市青少年育成センター | | |
| 所在地 | 宮崎市鶴島2丁目18番地9 | | |
| 竣工年度 | 昭和45年度 | 所管課 | 生涯学習課 |
| 敷地面積 (㎡) | 2313.79 | 延床面積 (㎡) | 1070.87 |
| 主構造 | 鉄筋コンクリート造 | 階数 | 1階 |

(2) 対象施設の経緯

| 年度 | 建物 | 構造 | 床面積 |
|-------|--------------|-----------|----------|
| 昭和45年 | 宮崎市青少年育成センター | 鉄筋コンクリート造 | 1070.87㎡ |

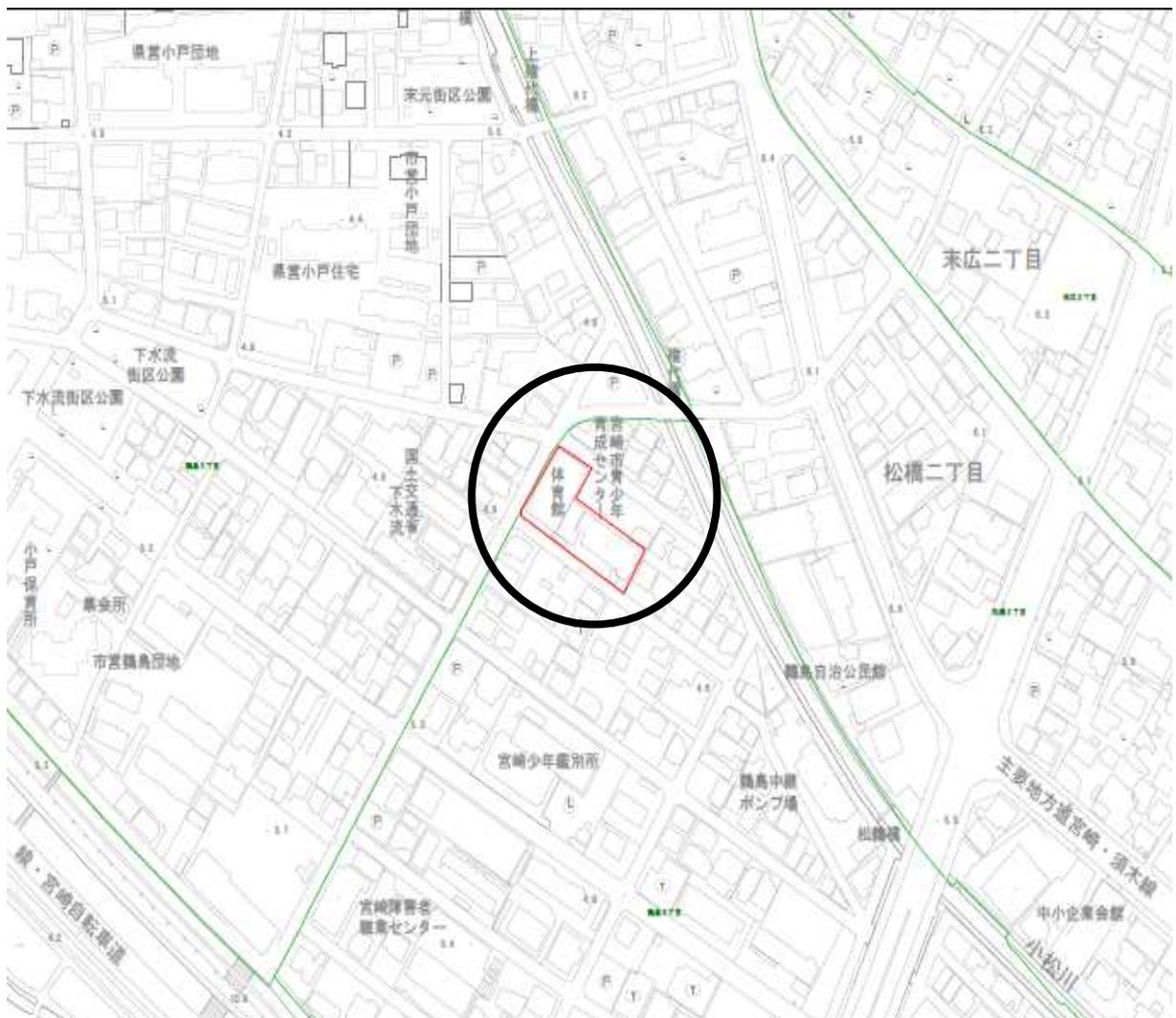
- ・本施設は、青少年の健全な育成のため、青少年の指導に関する機関および団体と密接な連携を図ることを目的に建設されました。同施設内には学校教育課所管の心の談話室、敷地内には小戸地域事務所・多目的ホールがあり、施設を共有しています。
- ・当該施設については、直営で管理運営を行っています。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は「宮崎市公共施設等総合管理計画」の計画期間に合わせて2021年度（令和3年度）から2027年度（令和9年度）までの7年間とします。

なお、社会情勢の変化や関連する計画の策定・改訂など、本計画に大きな影響を与える事象が発生した場合は、適宜見直しを行います。

(4) 位置図



(5) 施設写真

施設全景



会議室



第3章 個別施設の状態等

(1) 対策の優先順位の考え方

当該施設の方針として、鉄筋コンクリート造であることから目標耐用年数を80年（日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」）とし、計画的な修繕により施設の長寿命化及びライフサイクルコストの削減を図ります。

現在、施設の老朽化状況に応じて随時必要な修繕を実施しているところであり、今後も定期的な点検等を通して施設状況を把握し、施設機能及び利用者の安全を確保するために直接的な人的被害につながる可能性がある箇所（屋根・外壁）について優先して対策を行うほか、施設運営に影響を及ぼす設備（空調・給湯・電気・機械）についても必要な範囲で予防保全改修を実施します。

【長寿命化方針】目標耐用年数80年

改修時期として、築年数60年経過を目途に、施設状況を確認の上、大規模改修や長寿命化改修を検討します。

(2) 個別施設の状態

| 調査部位 | 種類・形式等 | 定期点検の判定項目 | 定期点検の判定結果 |
|--------|--------------------|--------------------------------|----------------|
| 敷地及び地盤 | 敷地 | 敷地内の排水状況 | ひび割れが見られる |
| | 空地・通路 | 空地・通路等の管理状況 | ひび割れ及び浮きが見られる |
| 建築物の外部 | 外壁仕上材等 | タイル、石貼り等、モルタル等の劣化及び損傷状況 | 塗装のひび割れが見られる |
| | 外壁に緊結された広告板、空調室外機等 | 機器本体の劣化及び損傷の状況 | ひび割れが見られる |
| | | 支持部分等の劣化及び損傷の状況 | 発錆及び錆汁が見られる |
| 建築物の内部 | 躯体等 | コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷状況 | ひび割れが見られる |
| | その他 | 内部の壁 | ひび割れが見られる |
| その他 | 内部の状況 | 床シート | 浮きが見られる |
| | | 多目的ホールの天井 | 損傷及びしみ、下りが見られる |
| | | 多目的ホールの壁 | 剥がれが見られる |
| | | 多目的ホールの扉 | 損傷が見られる |
| | 外部の状況 | 排水柵の鋼製蓋 | 腐食が見られる |

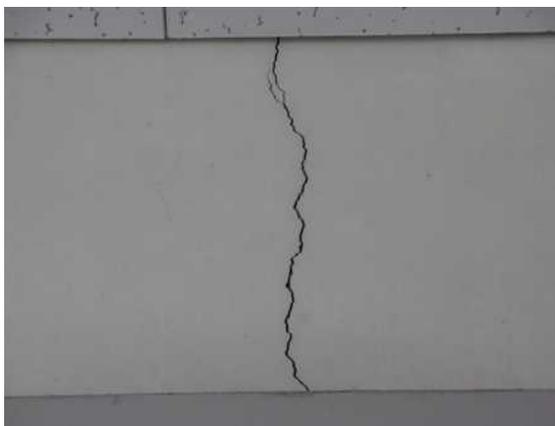
(3) 施設の劣化状況写真



内壁の状況



床の状況



多目的ホールの内壁の状況



多目的ホールの天井の状況



多目的ホールの壁タイルの状況



多目的ホールの壁の塗装の状況

第4章 対策の内容等

(1) 対策の考え方

当該施設は、築50年が経過しており、令和元年度の定期点検によると外壁のひび割れや内部の雨漏り跡が見られるなどの施設全体の老朽化状況が見られます。なお、平成25年から令和2年にかけて、当該施設の改築工事や多目的ホールの耐震工事、外壁改修工事、床修繕工事などを実施しています。

計画期間内においては、軽微な修繕に加え、令和3年度に多目的ホールの天井落下防止工事を実施する予定としております。

なお、今後の施設方針については、適宜、施設評価によって判断していくこととなります。

(2) 対策の平準化について

優先順位を選定の上、施設の役割・機能・利用状況を考慮しつつ、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、改修や修繕が必要な箇所については、計画に沿って実施していきます。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の実施時期の予定は下表のとおりとなりますが、進捗状況により計画の見直しを行います。

| 施設名 | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) | 令和5年度 (2023年度) | 令和6年度 (2024年度) | 令和7年度 (2025年度) | 令和8年度 (2026年度) | 令和9年度 (2027年度) |
|----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 宮崎市 青少年育成 センター | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 定期点検 | | ○ | | | ○ | | |
| 維持管理修繕 (千円) | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 |
| 予防保全改修 (千円) | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※事業費は概算値であり、実際の事業費とは異なります。また、施設の今後の方向性によっては、事業費が変動する可能性があります。